

提 案 概 要

実施期日	7月29日(火)【午後】
部会名	小学校 道德部会

1 提案テーマ 命を大切にすることを育てるために
～昨年度の実践を生かした取り組み～

2 単元(題材) 「チャンプ、きみのことをわすれない」

3 学 年 第4学年

4 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

② 生命を尊重する心を育てる道德教育の充実

5 学習指導要領との関連(内容項目)

第3章 道德 第2 内容 [第3学年及び第4学年]

3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること (1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。

6 実践に向けての課題意識

昨年度、4年生を担当し、命を大切にすることを育てるため授業を行ったが、命を大切にすることを十分に育てきれなかったように感じた。その原因として次のことが考えられる。

① 子ども達がねらいにせまっていくような発問ができなかった

② 日常生活や他教科と関連させた取組が継続的にできなかった

今年度も4年生を担当することになった。生き物への興味関心が高い子どもたちだと感じたので、生き物とのよりよい関わり方を考えさせることを通して、命を大切にしようとする心情を養うことにした。昨年度の実践を生かし、日常生活や他教科と関連させて命を尊重する心を育てていきたい。

7 実践の概要

○道徳的価値にせまるための工夫

- ・事前にアンケートを行い、児童の実態を把握した。
- ・昨年度と同じ資料を使うことで、昨年度の実践を生かし、ねらいにせまるための発問を考え、授業の流れを組み立てた。
- ・理科の学習や学校生活のことを話題にし、自分の生活に置きかえて振り返らせるようにした。

○道徳的価値を深めるための工夫

- ・年間を通して命について考えさせる時間を多く設けた。
- ・授業の内容や子どもの発言を学級通信に載せて家庭に発信することで、道徳の時間に学んだことを子ども同士や家庭とも共有できるようにした。
- ・継続して命を大切にすることを育てられるようにクラスで生き物を飼うことにした。

8 成果と課題

【成果】

- ・昨年度の実践から得られた課題について工夫改善することにより、ねらいにせまることができ、命を大切にしようとする児童が授業後に多くみられた。
- ・アンケートを使い、授業前と授業後の子どもたちの考えの変容をみることができ、子どもたちとの今後の関わり方の参考になった。
- ・クラスの中で生き物を飼いたいという声があがり、命を大切にしながら生き物の世話をする姿が見られるようになってきた。

【課題】

- ・2学期は相手を大切にできるように意識をさせ、継続的に日常生活や他教科との関連をさせていく。
- ・授業で死を取り扱う際、教師側が子どもたちの発達段階や実態をよく把握した上で、どのようなねらいで、どのように扱うのかその意図をしっかりと考えておく必要がある。

9 予想される協議の柱

- ・道徳の授業におけるねらいにせまるような発問
- ・生命を尊重する心を育てる取組(他教科や日常生活との関連、生命を扱う時に気をつけていること)